



インドネシア・マラン国立大学の教員・学生が理工学部を訪問 学生国際交流組織「STEPs」と交流会を開催

【概要】

インドネシア・マラン国立大学（UM）の教員及び学生が、令和5年9月25日（月）、26日（火）に理工学部を訪問しました。25日（月）は理工学部長らとの懇談会と研究室見学、26日（火）には理工学部の学生国際交流組織「STEPs」の学生との交流会を開催しました。

【本文】

インドネシアのマラン国立大学の教員3名、学生6名の計9名が、令和5年9月25日（月）、26日（火）に理工学部を訪問しました。

25日（月）は、理工学部とマラン国立大学間の懇談会として、理工学部より豊田 一彦 理工学部長（当時）、カーン 理工学部長補佐に加えて、マラン国立大学の客員教授を務めている上田 俊 准教授が出席し、意見交換が行われました。本学とマラン国立大学は、2011年から大学間の学術交流協定を締結しており、両大学間の連携を深める有意義な懇談の場となりました。その後、先進健康科学研究科・生体医工学コースのカーン准教授の研究室、理工学研究科・電気電子工学コースの豊田教授の研究室、知能情報工学コースの福田教授の研究室の3つの研究室見学を実施しました。

26日（火）は、学部長表彰を受賞した成績優秀者とその大学院進学者で構成される学生国際交流組織「STEPs」との交流会を実施しました。交流会では、STEPsの概要を説明する発表と、マラン国立大学の学生による同大学の教育内容を説明する発表を通して、お互いの理解を深めました。その後、参加者間で、日本に来たときの印象や海外訪問したときの感想などを英語で和気あいあいと話し合い、交流会として有意義な時間を過ごしました。

STEPsでは、毎週の英会話練習に加えて、海外研修を例年実施しています。昨年度はマレーシア研修を実施し、学生たちにとってイスラム文化を有する国を知る良い機会となりました。今回、同じイスラム文化を有するインドネシアの学生との交流の中で、学生たちはマレーシア訪問で学んだことを活かして交流し、STEPsの活動目標である異文化理解、及び英語スキルの向上を実感していました。

日頃より STEPs の活動にご理解とご協力をいただいている皆様にご場をお借りして感謝申し上げます。



理工学部長との懇談会での記念写真



STEPS との交流会での記念写真